

ピアニスト・歌人 河野美砂子レクチャーコンサート

音楽・短歌における 晩年の声

2026

3.21(土) 開演・19:00 (18:30開場)

札の辻クロスホール

静岡市葵区呉服町1丁目30 札の辻クロス6階

入場無料 全席自由

※席数に限りがあるため予め予約をしてお越しください。

Program

- モーツァルト
「ロンド ニ長調 K.485」
「ロンド イ短調 K.511」
- ショパン
「ワルツ 第8番 変イ長調 Op.64-3」
「マズルカ 第49番 へ短調 Op.68-4」
(死の床での絶筆・トリオ部分復刻版による)
- 河野裕子(1946～2010)の晩年の短歌作品について【トーク】
- シューベルト
「ピアノ・ソナタ第21番 変ロ長調 D 960」
より 第1楽章

このみさこ

レクチャー&ピアノ演奏 **河野美砂子**

京都市立芸術大学卒業。ウィーン国立音楽大学等に留学。1988年淡路島国際室内楽コンクール優秀賞、2015年第35回藤堂音楽賞受賞。井上直幸、P・アクセンフェルト他に師事。ソロリサイタルシリーズ「シューベルトとシェーンベルク」の他、「ベートーヴェンとの対話」「モーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会」等、シリーズで企画演奏している。河合隼雄、谷川俊太郎両氏と長野県戸隠にて「お話と朗読と音楽の夕べ」を8年間共演した他、レクチャーコンサートを2006年より開始。「作曲家シリーズ」「日本人とピアノ～絶対音感って?」など多彩なテーマを取り上げている。2022年まで京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師。1993年塔短歌会入会。第41回角川短歌賞受賞。歌集『無言歌』(第5回現代短歌新人賞)、『ゼクエント』(第12回葛原妙子賞)を刊行。



Misako Kono

作品創作の上で、作家が自身の「死」に近づいたとき
最も惹かれるものは、いったい何?
モーツァルト、シューベルト、ショパンの最晩年のピアノ曲の他、
現代短歌より河野裕子作品を取り上げ、
晩年特有の世界を掘り下げます。

予約方法



QRコードを読み込み、必要事項を入力してください。

先着順・定員 190名

<https://forms.gle/sf866N5ef1X1FsD38>

主催お問合せ

静岡大学ピアノとウェルビーイング研究所 担当: 安永

メール yasunaga.ai@shizuoka.ac.jp

電話 090-8732-4021 (安永)



主催: 静岡大学ピアノとウェルビーイング研究所

後援: 静岡市、静岡市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送、静岡県歌人協会

協力: (株)音東